

淡いピンク色の中輪バラ新品種候補「ひたち4号」（仮称）の育成			
[要約] バラ新品種候補「ひたち4号」は、淡いピンク色のカップ咲き中輪バラで、香りを有する。採花本数（収量性）は既存の多収性品種よりも多い。花色と商品性の市場評価が高く、業務需要から小売りまで幅広い用途に適する。			
茨城県農業総合センター生物工学研究所 〃 園芸研究所	令和7年度	成果区分	普及

### 1. 背景・ねらい

茨城県の県花であるバラは産出額約3億円で、主要な施設花き品目の一つである。近年、バラ経営では花き需要の低迷や燃料費高騰、さらに全国で生産される品種の画一化により産地間の差別化が困難な状況であり、経営が圧迫されている。そこで、他産地との差別化が可能なオリジナル性を有し、生産性が高いバラ品種を育成する。

### 2. 成果の内容・特徴

- 「ひたち4号」は令和元年に交配し、得られた実生から選抜した系統である。
- 淡いピンクの花色で、香りを有する系統である（写真1）。カップ咲きで、花卉数は多く、中輪である。
- 採花本数は「アヴァランチェ+」（多収性品種）と比較して多い（表1）。
- 切花長、は「アヴァランチェ+」よりやや短く、切花重、花蕾長及び茎径は小さい（表1）。
- 日持ち日数は7.8日と普通である（データ略）。
- 県内市場関係者からは、花色の評価が高い。ギフトやアレンジの用途のほか、ブライダルや小売にも向き、幅広い用途に適する（表2）。
- 東京都中央卸売市場の市場関係者からは、花色と商品性の評価が優れ、すべての用途に適する（表2）。
- 現地適応性検定試験（4経営体）は、花が小さいため1経営体で花のボリュームは劣ると評価されたが、花色と香りは3経営体で「良」「強香」と評価されている。収量性は多～普通、商品性は良～普通の評価であり、生産者が新品種導入の際に重要視する特性のほとんどで、良～普通の評価を得ている。
- 品種化要望・導入希望は4経営体のうち2経営体で「有」で、収量性や商品性を重要視する経営体で希望がある（データ略）。本格生産される際には、1経営体当たり500株程度が見込まれる。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 切り花長が短くS～M等級が中心となる（データ略）が、市場担当者からはバランスが良く使いやすいため問題とならないと評価されている。
- 圃場により花シミの発生が見られる。
- 普及対象：県内全域、普及目標：出荷本数5.5万本（現地試験における導入希望者2名＋それ以外の生産者1名の計3経営体で本格生産される想定）  
（参考）「愛知1号」（ST赤）は出荷本数30万本、「愛知2号」（ST白）は10万本を目標

#### 4. 具体的データ



写真1 「ひたち4号」の花姿

表1 「ひたち4号」の特性 (R7)

系統・品種	花色等	採花本数 (本/株)	切花長 (cm)	切花重 (g)	花蕾長 (cm)	花首長 (cm)	節数 (節)	茎径 (cm)
ひたち4号	淡ピンク・香り	14.1	56.4	24.5	3.4	7.8	15.3	0.49
アヴァランチュエ+	白	9.2	62.8	43.8	5.1	8.9	13.2	0.60
サムライ08	赤	6.4	78.6	60.5	5.4	8.7	16.8	0.72

1) 65型プランターに5株定植、15株/区 反復なし、少量培地耕・アーチング仕立て。定植2年目の株を供試した。

2) 2024年10月1日に同化専用枝を3本/株に揃え、採花枝を除去した。採花期間は2024/11/1~2025/4/30。

切花長40cm以上を採花、採花位置は採花枝基部。

3) 切り前は花芯がわずかにほだけ始めた時期。値は平均値を示す。茎径は採花枝基部1cmの位置。

表2 「ひたち4号」の市場性評価  
(R6、7)

	県内市場 関係者	中央卸売 市場関係者
花色 ※1	4.5	4.4
花形・ボリューム	3.7	4
商品性	3.8	4.2
プライダル(ブーク等)	11	7
会場装花	8	7
ギフト・アレンジ	15	7
小売り	12	5
延べ回答数	46	26

\*1 評価値(5:良、3:普通、1:劣)の平均値

\*2 回答数

表3 「ひたち4号」の現地適応性評価 (R7)

評価項目	評価 基準	A経営体	B経営体	C経営体	D経営体
収量性	1)	多	普通	多	普通
作りやすさ	2)	良	普通	普通	良
病害の発生	3)	少	普通	無	普通
虫害の発生	3)	普通	普通	普通	普通
切り花長	2)	普通	普通	普通	普通
花色	2)	良	良	良	普通
花形	2)	普通	普通	普通	普通
花のボリューム	2)	良	普通	劣	普通
香り	4)	-	強香	強香	強香
花と茎葉のバランス	2)	良	良	劣	劣
日持ち性	2)	良	普通	普通	普通
商品性	2)	良	良	普通	普通
総合評価	2)	良	普通	普通	普通
品種化要望	5)	有	無	有	無
導入希望	5)	有(600株程度)	無	有(600株程度)	無
導入の際に 重要視する 形質		病害発生 収量性 商品性	見た目 日持ち・輸送性 香り	収量性 商品性	花形(大輪性) 収量性

その他意見  
(A経営体) 淡いピンクで葬儀にも使える  
(B経営体) 花卉先にシミ(変色)が見られた  
(C経営体) 棘がきつい、(多収なため)芽の整理が必要、売り方次第

(試験概要) 期間:2023年5月~2024年12月。5cmロックウールキューブの挿し木苗。養成・栽培管理は農家慣行。  
評価は期間中の採花枝を用いて選択式アンケートにより絶対評価、導入の際に重要視する形質は聞き取りした。評価が優れる項目は網掛け、劣る項目は塗りつぶしとし、各経営体において導入の際に重要視する形質は黒枠で示した。

- 1) 極多・多・普通・少・極少の5段階評価  
2) 極良・良・普通・劣・極劣の5段階評価  
3) 無・少・普通・多・甚の5段階評価  
4) 強香・弱香・無の3段階評価  
5) 有・無の2段階評価

#### 5. 試験課題名・試験期間

・担当研究室

新品種育成普及促進事業

平成30年度~

生物学研究所

果樹・花き育種研究室

園芸研究所 花き研究室